

私はカナダ研修に参加して、小学校教諭になるという意欲が高まった。

どうすれば子どもたちがより楽しみながら学べるか、日本を感じるができるか、たくさん考え悩んだ。もちろん、うまくいなくて悔しい思いもした。しかし、その分、子どもたちが楽しんでいる姿や、私が予想していた以上に考え工夫して授業に取り組んでくれる姿をみて、とても嬉しかった。

カナダ研修で過ごした2週間は、いつも日本で過ごす2週間とは比べものにならないほど濃くて、私自身今までで1番成長できた2週間となった。

1番私自身が成長できたと感じたのは、子どもたちのことを考えて授業をできるようになったことだ。1週目に訪問したウィルキンソンでは、とても緊張していて「英語を話すこと」やただ「練習通り授業をすること」など、自分のことしか考えられていなかった。子どもたちは楽しんでくれたかもしれないが、これは教師がする授業ではない。2週目に訪問した学校の校長先生が、教師はエンターテイナーではないとおっしゃっていた。覚えてきたものをそのまま出すエンターテイナーではなくて、その時の子どもに合わせて授業をつくりだしていくのが教師だということを、校長先生のお話を聞いて再確認することができた。

また、子どもたちを楽しませるためには、私自身が楽しまなければならない、と1回目の授業を振り返って感じたので、2回目は子どもたちに楽しさを感じてもらうために私自身も楽しんだ。そうすることで心に余裕ができて、自信を持って授業をすることができたし、子どもたちが自由に工作する場面では、より積極的に関わることができた。

そして、実習の期間は短いがそれまでの準備期間から共に過ごした人たちの存在は、私の中でとても大きなものとなった。私がうまくいなくて立ち止まったとき、自分のことのように一生懸命考えてくれたり、どんなことでも一緒に楽しもうという雰囲気と一緒に頑張った仲間。私たち学生が成長できるように、そして少しでも有意義な実習になるように、たくさん準備をしてくださったり、言葉をかけてくれた先生方。この実習で本当に素敵な人との出会いがあった。この出会いを大切にしながら、これからも共に教師を目指す仲間として、一緒に頑張っていきたい。最後に、この実習に参加できたこと心から嬉しく思う。しっかりこれからは繋げていきたい。

